



水産情報速報版

H26. 1. 10. No1319

静岡県漁業協同組合連合会

☎054-254-6011 Fax054-253-9343

編集・発行＝指導部漁業振興課

URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>



謹賀新年 本年も宜しくお願い申し上げます

1. 年頭のご挨拶

静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長 荒川邦夫

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、県下漁協の組合員並びにJFグループの皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新政権のもとアベノミクス効果による円安や株価上昇で日本経済に改善の兆しが見え始めたことや、2020年に東京オリンピック開催が決定したこと、ユネスコによる富士山の世界文化遺産登録に続いて、日本人の伝統的な食文化である和食が無形文化遺産に登録されるなど、私達に明るい話題を与えてくれた年となりました。

さて、県下の漁業界を振り返ると、沿岸漁業を代表するシラス船曳網漁業では黒潮大蛇行の影響を受け、6月中旬以降降水揚量が急激に落ち込む漁模様となったほか、他の漁業全般においても不安定な資源動向と石油製品や養殖用配合飼料の価格高騰が影響するなどして、総じて厳しい漁業経営を強いられた年でした。

こうした状況の中、本会では資源管理・収入安定対策における資源管理協議会の運営に参画し、自主的な資源管理措置の円滑な履行確認を目指し関係組合との調整をはじめ、燃油・配合飼料の高騰に備える取り組みでは、全漁連と連携して中央や地元静岡で様々なアピール活動を実施した結果、従来の漁業経営セーフティネット構築事業に上積みする形で昨年7月から「漁業用燃油緊急特別対策」を実現することが出来ました。加入漁業者の皆さんには、既に補てん金が支払われており、今後は更にもう一步踏み込んだ緊急対策が併せ実施されることから、同事業において遺漏のない事務の実施と加入促進に努力していきます。

また、既合併漁協における進捗管理指導、未実施地区における合併に向けた意見交換の開催や漁協巡回のほか、マネジメント人材育成事業をはじめとする漁協職員の知識や技能の向上を図る各種研修会を開催しており、今後も自立できる漁協の構築に向けて支援することとしています。

一方、本会経営の要である石油購買事業は、製品価格の高止まりが続く中、大型漁船の水揚げ地変更や国の復興支援事業への参加の影響、同業他社との競合激化により利益確保が出来なかったこと、また販売事業では、浜名湖アサリの漁獲が大きく減少するなど二枚貝集出荷事業においても厳しい事業状況となっていますが、既に種々検討を重ね収支改善に向けた新しい取り組みに着手したところです。

なお、静岡県の委託事業である温水利用委託事業は、皆様にもご心配を頂いておりますが県の補正予算で整備されたポンプ等を活用して、センターの種苗生産や放流等の事業が概ね順調に実施されています。現状、エネルギー政策の行方が不透明な中であって、同センターの果たす役割は漁業界にとって非常に重要であり、県の委託事業が今後とも継続されるよう

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

切に願うところです。

以上、新年を迎えて所感の一端を申し上げましたが、今後も漁協系統発展のためには、会員漁協や組合員、更には地域の各水産団体組織の一層のご支援、ご協力が必要不可欠となります。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年は十二支7番目の「午(うま)」となります。この7という数字にあやかり、皆様にとってまさに飛躍の年となりますよう、本県漁業並びにJFグループの益々の発展を祈念して新年のご挨拶と致します。

2. 第19回県青年・女性漁業者交流大会開催

県並びに本会は、12月6日あざれあにおいて、県下漁協青壮年・女性漁業者のほか、水産関係団体代表者等 約130名の参加を得て、第19回静岡県青年・女性漁業者交流大会を開催しました。大会では、県経済産業部藤田水産局長及び本会会長より主催者挨拶がなされた後、以下の実績活動発表が行われました。

- ①小川漁港内でのマダイ種苗中間育成に取り組んで 小川沿岸漁業者組合 鈴木三郎氏
- ②さくらえびの町の未来を作る一漁協と共に、青年部が地域を変える一
由比港漁業協同組合青年部 草谷 健氏
- ③キンメダイ漁でのサメ類による漁業被害の実態を明らかに！
伊豆漁業協同組合須崎出張所青壮年部 土屋臣嘉氏

その後、審査が行われている間、県立焼津水産高等学校の青島祥貴さん・志田 颯さんから「シャドウアート～影の水族館～」と題し、研究発表が披露されたほか、県水産技術研究所資源海洋科長の長谷川雅俊氏から「魚探からのシラスマップ発信について」と題して、情報提供されました。

審査は、審査員7名（審査委員長：田中眞県水技研所長）により厳正に行われ、「漁業者が加工や販売分野にも乗り出していく6次産業化の良い事例となり、青年部が地域をリードする頼もしい存在になると期待できる」とその取り組みが評価された由比港漁業協同組合青年部が最優秀賞（県知事賞）に選ばれました。また、実績活動発表3件に対して、本会会長から賞状が授与されたほか、研究発表を行った生徒さんに対し記念品が贈呈されました。

なお、由比港漁業協同組合青年部の発表内容は、3月4.5日 東京都内で開催される全国大会へ出場する県代表に推薦されました。

3. 「フォーマル パールフェア」開催のお知らせ

県漁連購買部

本会資材課では、全漁連及び愛媛県漁連の協力により、静岡中央ビル（県水産会館）5階大会議室において、「フォーマル パールフェア」を開催します。日本有数の真珠生産地で世界に誇る魅力あるブランドとなっている愛媛県宇和島産の選りすぐった真珠製品の展示・販売を行います。皆様、是非ともお誘い合わせのうえ、多数ご来場下さるようご案内します。

◇開催日 平成26年1月24日（金）～1月26日（日）

◇開催時間 午前10時～午後6時（最終日は午後5時）

◇問い合わせ 県漁連購買部資材課 TEL：054-252-5154

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう